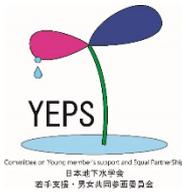


2022 年春季講演会「若手交流会」実施報告

日本地下水学会 若手支援・男女共同参画 (YEPS) 委員会

榎原 厚一*1



2022 年 5 月 21 日 (土) 12:15~13:15 に若手交流会 (現地・オンラインどちらからも参加可能なハイブリッド形式) を開催しました。本交流会は 2022 年春季講演会のお昼休みに実施し、若手を中心に合計 28 名 (内 6 名はオンライン参加) の方々にご参加いただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。

今回の若手交流会では、この春、愛媛大学大学院農学研究科へご着任された倉澤智樹先生をお招きしました。交流会前半は、早い時期から多彩なご経験をされ、アグレッシブな研究を進めておられる先生の体験談や考えを講演いただき、後半は参加者の皆様からの質問の時間としました。「技術者から研究者へ」と題したご講演では、修士課程修了後に技術屋としてキャリアを積み、その後、博士課程進学を決心した経緯やそれぞれの時期における先生の考えと周辺環境の変化などをお話いただきました。「自分の興味を突き詰め、そこから地下水学の発展に寄与したい」、「少し遠回りしたが、これから地下水研究を研究者として楽しく励む」という強い意志がひしひしと感じられました。

技術者が良い、研究者が良い、という明確な選択をする必要はないと思いますが、若手の皆様一人一人が今後の将来をしっかりと考え、行動するきっかけになったら、大変嬉しく思います。「若手が育たなければ、将来はない」と、焦りを感じさせるような言葉を様々な場面で聞くことが近年増えました。地下水学会 YEPS 委員会として、その若手の育成・支援の一役を今後も担っていきたいと考えています。



写真 1. 倉澤先生の講演の様子



写真 2. 若手交流会会場の様子

*1 信州大学

アンケート集計結果報告

若手交流会後に実施したアンケートの集計結果を図 1 に示しています。その結果を見ると、参加者の約 70%が社会人の方で、約 30%が学生の方でした。若手交流会の内容では、参加者全員から、“とても良かった”、“良かった”との回答を得ることができました。良かったと回答した理由として、“リアルタイムで参考になった”、“どんな状況でも楽しむ姿勢が大切であると学ぶことができた”、“講師の先生の姿・講演によって元気が出た”、“気軽に質問できる雰囲気が良かった”などを挙げていただきました。また、次回以降も今回に引き続き、多様なキャリアを有する方の講演、若手が実施している面白い研究の紹介などを求めるお声をいただきました。今後の YEPS 委員会主催のイベントとして検討していきたいと思えます。さらに、参加者の内 33%の方がこれまで 3 回以上参加いただいております。参加者全員から今後も参加したいというポジティブなご意見をいただきました。一方で、オンラインなら参加したいというお声をいただいておりますので、ハイブリッド開催が重要であると再認識できました。情報源は、例年通り、web、メール、知人等多岐にわたりますが、当日まで知らなかったという方もいらっしゃいましたので、引き続き多方面からの情報発信をしていきたいと思えます。

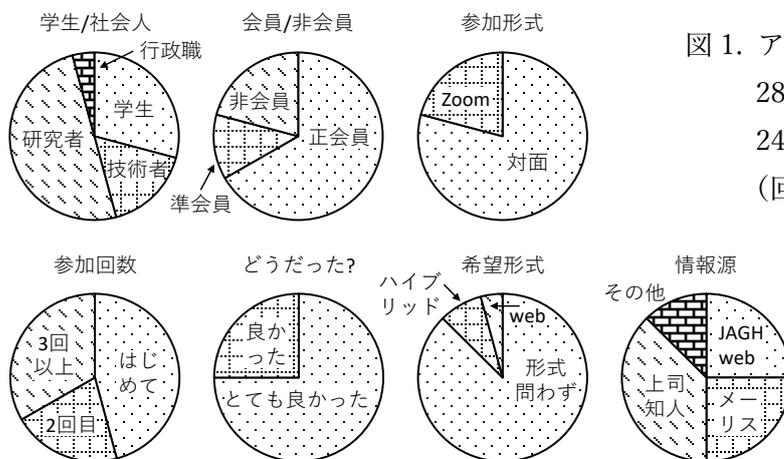


図 1. アンケートの集計結果
28名の参加者のうち
24名からの回答
(回収率：86%)

おわりに

未解明な事象をニーズと捉えて実施する研究のように、ニーズに合った企画をすることは YEPS 委員会における責務であると思えます。今後も、皆様のニーズを把握・開拓し、男女共同参画の推進と将来を担う若手の皆様の支援を通し、地下水学会を盛り上げていきたいと考えています。ご意見・ご要望、若手会への入会希望、若手ニュースメールの登録希望などがございましたら下記までご連絡いただけますと幸いです。

連絡先 (地下水学会 YEPS 委員会) : [yeps\(at\)jagh.jp](mailto:yeps(at)jagh.jp) (“at”を@に変換)